

## 最近の雇用失業情勢（令和6年8月の内容）

## 1 県内概況

「有効求人倍率は1.22倍（季調値）」（前月より0.03ポイント低下）

## [概況]

- 「雇用情勢は、**改善の動きが弱まっている**。物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。」
- 有効求人倍率は**前月より0.03ポイント低下**。

## [基調判断]

- **《情勢維持》**

## [判断根拠]

- 有効求人倍率が減少しているが、一時的な動きかも含めて、今後の状況を注視する必要があるため。

## 2 各指標の動向

新規求人数は建設業等で増。製造業等で減。

## [新規求人数]

当月：4,306人 製造業の減員等により－641人  
（前年同月 13.0%減）

## [産業分類別]

- 「増」（対前年同月比）
  - 【建設業】当月：491人 前年同月：+38人
  - 【サービス業】当月：517人 前年同月：+5人
- 「減」（対前年同月比）
  - 【製造業】当月：370人 前年同月：－220人
  - 【医療、福祉】当月：944人 前年同月：－138人
  - 【卸・小売業】当月：592人 前年同月：－112人
  - 【宿泊・飲食サービス業】当月：400人 前年同月：－85人

## [地域別求人倍率]

【鳥取所】当月：1.08倍 前年同月：－0.11P  
 【米子所】当月：1.38倍 前年同月：－0.19P  
 【倉吉所】当月：1.25倍 前年同月：－0.22P

## [正社員関連]

有効求人倍率 1.07倍（14か月連続で前年同月を下回る）  
 →全国指標1.00倍（11か月連続で前年同月を下回る）

## [新規求職者数]

当月：1,697人（前年同月13.1%減）